



大和中 スマイル通信

2024 年度 No. 6

「読み聞かせサークルスマイル」

大和中学校のみなさん、こんにちは。

前回の読み聞かせの直前に、谷川俊太郎さんがお亡くなりになりました。多くのクラスで、谷川さんの詩を読んでいただきました。教科書などで、だれもが知っている谷川さんですが、これを機会に、まだ読んだことのない詩にもぜひ触れてみてください。本当にさみしいですね。ご冥福をお祈りします。

10月18日(金) ～活動報告より～

クラス	読んだ本	作者	出版社
2-1	インドのむかしばなし にげろ！にげろ？	再話/絵：ジャン・ソーンヒル 訳：青山南	光村教育図書
2-3	おたからパン	真珠 まりこ	ひさかたチャイルド
2-4	風の神とオキクルミ	作：萱野茂 絵：斎藤博之	小峰書店
2-5	オサム	作：谷川俊太郎 絵：あべ弘士	童話屋
3-1	クモのつな	絵：斎藤隆夫 訳：さくまゆみこ	福音館書店
3-2	中原中也詩集	中原中也	岩波書店
3-3	もし、世界にわたしが いなかったら	文：ビクター D. O. サントス 絵：アンナ・フォルラティ 訳：金原 瑞人	西村書店
3-4	楽しい私の家	著：孔 枝泳 訳：蓮池 薫	新潮社
3-5	国境なき医師団に寄せる 他3篇	作：谷川俊太郎	
3-6	ひとあし ひとあし そんなとき隣に詩があります	作・絵：レオ・レオニ 訳：谷川 俊太郎 鴻上尚史が選ぶ谷川俊太郎の詩	好学社 大和書房
8組	ラヴ・ユー・フォーエバー	作：ロバート・マンチ 絵：梅田 俊作 訳：乃木 りか	岩崎書店



ただいまボランティアの数が全クラスに足りていません。
一緒に活動していただける方がいたら、ぜひお声かけください。
見学からでも大丈夫です。お気軽にどうぞ～^^
次回の読み聞かせは12月20日(金)です。

○ オサム 作：谷川俊太郎 絵：あべ弘士

オサム

谷川俊太郎・文 あべ弘士・絵



ここ数日谷川俊太郎さんの記事がいくつも載っていて、ぜひここで読もうと思ひ選んでみました。「オサム」淡々と日々を過ごす姿がとても印象的。深いことばなんだなあと感じます。

谷川俊太郎さんの詩「ぼくのゆめ」の中に、「いいひとになりたい」というコトバがあります。谷川さんは、「いいひと」をコトバに書くのはむずかしいので絵で描いてほしいといって、「オサム」という文を書きました。それを見たあべさんは、オサムはゴリラだとひらめいて、たちまち絵を描きました。

○ そんなとき隣に詩があります

鴻上尚史が選ぶ谷川俊太郎の詩



谷川俊太郎の詩
鴻上尚史

谷川さんの詩を味わうことで、
あなたの生活の中にある詩に
気付くようになったら素敵だと思います。
— 鴻上尚史

人生のチカラになってくれる谷川俊太郎の詩を、劇作家・鴻上尚史がセレクトし、エッセーを添えた、谷川&鴻上版「人生処方詩集」

鴻上尚史

あなたの症状にあった素敵な詩を見つけたら、暗唱するのも悪くないと思います。声に出すと詩は、とくに谷川さんの詩は別の顔を見せます。そして、お腹のもうひとつ深い部分まで、その言葉はずとんと落ちるのです。

谷川俊太郎

鴻上さんが真剣に選んで、文章も書いてくださって、心から感謝しています。やはり劇作家、演出家の目で見ると、自分の書いたものでも違って見えてきますね。

○もし、世界にわたしがいなかったら 文：ビクター D. O. サントス 絵：アンナ・フォルラティ

訳：金原 瑞人



「わたしは、ずいぶん長く生きてきた。あなたが知っているだれよりも前から。世界じゅうどこにでも、いろんな姿をした何千ものわたしがいる。わたしはあなたを、つれていってあげられる。過去へ、現在へ、未来へ。わたしは、なんでしょう？」

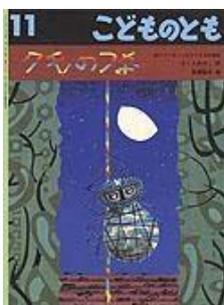
なんだろう？と思っていたら、それは言葉でした。

ひとつの言葉がほろびると文化も一緒にほろびてしまうそうです。

何気なくあたり前のように使っている言葉ですが、言語がひとつなくなるたびに、文化的、地理的、植物学的、哲学的…な知識が永遠に失われてしまうそうです。どの言語も大切にしていかなければなりません。

○クモのつな

絵：斎藤 隆夫 訳：さくま ゆみこ



西アフリカ・シエラレオネの昔話です

昔、日照りがつづき、食べ物が手に入らないことがありました。動物たちはみんな、おなかですいて、がりがりにやせてしまいましたが、クモだけは元気でした。不思議に思ったノウサギがクモにたずねると、クモは食べ物のありかを教えてくれました。他の動物には内緒のはずでしたが、ノウサギはみんなにも教えてしまいます……。おおらかでユーモラスな昔話です。